

第26回国民文化祭

京都2011・「連歌の祭典」プレ大会 文芸祭連歌大会

サブテーマ 「いろはにはへと京こそ連歌」

〈趣 旨〉 全国の連歌に親しむ人、新しく勉強しようとする人達が集い、連歌を通して古語、雅語の美しい日本語を見直し、次の世代

に引き継ぐ機会とします。

平成二十三年度の「連歌の祭典」開催に向けてのリハーサル大会を開催し、併せて連歌作品の募集や実作を通じて若い世代を含めた交流の場とします。

〈主催者〉 第26回国民文化祭京都府実行委員会

全国連歌協会

京都連歌の会

〈後 援〉 京都府 京都府教育委員会

〈事業内容〉 全国から連歌を募集し、入選作品を選び表彰。

連歌実作を行い参加者の交流をはかる。

講演会を行い、言葉による表現の探求を行う。

〈日 時〉 平成二十二年十月三十日(土) 三十一日(日)

〈会 場〉 第一日(三十日)：大 会

開会式・連歌公募作品の表彰選評 十三時

講演会 十四時

交流会 十七時

開会式・表彰・講演会・交流会の会場

京都テルサ(京都府民交流プラザ)

京都市南区九条下殿田町七〇 TEL 〇七五・六九二・三四〇〇(代表)

第二日(三十一日)：連歌実作 十時

※九時半受付。各座の進行は係の指示に従ってください。

実作の会場

京都北野天満宮・東寺塔頭「観智院」

※実作会場については、事前に主催者から連絡します。

〈連歌応募規定〉

- (一) 作品 連歌の「第三」を付ける。
- (二) 応募料 無料
- (三) 応募方法 所定の用紙、応募票に必要事項を記入して左記応募先へ郵送下さい。
封筒には「連歌作品」と明記のこと。

応募は、一句のみでも可。未発表の自作であること。

大会、交流会及び実作会参加の有無を明記してください。

交流会費は当日申し受けます。

応募規定に違反する場合は、入選、入賞を取り消します。

〈応募先〉

〒六〇二―八五七〇

京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町

第26回国民文化祭京都府実行委員会事務局

TEL〇七五―四一四―四二八〇 FAX〇七五―四一四―五一三七

〈応募受付〉

六月一日～七月三十一日迄(当日消印有効)

〈審査〉

以下の選者により審査を行い、入選、入賞作品を決定します。

結果は、入選者・入賞者に通知します。

なお、審査についてのお問い合わせには応じられません。また、審査結果についての異議は受理致しません。

〈選者〉

有川宜博 島津忠夫 図子まり絵 筒井紅舟 鶴崎裕雄 服部満千子 藤江正謹 光田和伸 (五十音順)

〈賞〉

第26回国民文化祭京都府実行委員会会長賞

全国連歌協会会長賞

京都連歌の会会長賞

〈発表〉

二十二年十月三十日

国民文化祭連歌会プレ会場 京都テルサにて

受賞者には予め通知致します。

入選作品は、作品集として刊行し、応募者全員に配布します。

〈宿泊〉

御予約は各自ご自由にお願致します。

〈交流会〉

別途お申し込み下さい。

〈お問い合わせ先〉

〒六〇二―八五七〇

京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町

第26回国民文化祭京都府実行委員会事務局

TEL〇七五―四一四―四二八〇 FAX〇七五―四一四―五一三七

連歌作品を公募します

今年平成二十二年秋に京都で文芸祭連歌大会が行われます。これは明年の「第26回国民文化祭・京都2011 連歌の祭典」の予行として開催されるもので、あわせて現代連歌のいっそうの興隆を願つてのものです。どうか広く多数のご応募をお願いします。作品は厳正に審査のうえ、優秀作は秋の大会において顕彰いたします。

【連歌の「第三」を付けてください】

連歌では発句、脇句につづく第三句目を「第三」と言います。次の二組の発句、脇句にそれぞれあなたの第三を付けてください。春の発句、脇句は現代の作品を用意しました。

夏の発句、脇句は、明智光秀が本能寺の変の数日前に京都愛宕山で興行した「愛宕百韻」のものです。

〔季節〕 〔素材〕

発句 み教へを伝へむ不二の八重桜 忠夫 春 植物

脇句 東風かをりくる名にし負ふ寺 幸子 春 釈教

第三 募集句 春

発句 ときは今天が下しる五月哉 光秀 夏 なし

脇句 水上まさる庭の夏山 行祐 夏 山類・水辺・居所

連歌は、前句に付きながら同時に離れて新しい世界を展開するということが大切です。

第三はことに、発句と脇句の作る世界から大胆に踏み出すことが求められます。同時に、作品の出発直後であるため、これまでの展開から生じる制約が少ないという特徴があります。

作りやすく、また連歌の面白さを味わうにはよいところですよ。どうか、あなたの手で新しい展開の第一歩を考えてください。

【「第三」の作り方の約束】

第三にはこれまでに記したことほかに、次のような作り方の約束があります。

(1) 助詞の「て」または助動詞の「らむ」で終わり、おおらかで格調高く、のびのびとした世界の表現を心がけてください。

(2) 神祇、釈教、恋、述懐、名所のような重い素材を使わないようにしてください。

また、連歌の付句に共通の、つぎの約束があります。

(3) 打越（この場合、発句）に使われて、前句に使われなかった素材は使用できない。また打越や前句と、発想、句境が似たものとなつてはいけません。このほかに、連歌そのものの約束として、つぎのような制約があります。

(4) 俳言を使用しない。俳言とは漢語と俗語とお考えください。漢語とは漢字の音読みの熟語のことです。たとえば「約束」「志向」のような単語です。俗語は考え方によっても違います。流行語、外来語、あまりに品のない語彙のことです。要するに連歌は発想と表現が雅馴であること（上品で、よく練れていること）を志していると考えてください。

「愛宕百韻」は、明智光秀が織田信長を討つ志をひそかにこめて、戦勝を祈ったという解釈がありますが、応募作にはそのような気持ちを盛り込んでいただく必要はありません。純粹に芸術的な世界を展開してください。

国民文化祭 連歌の祭典プレ大会

応募票

応募部門

※該当に○印をつけてください

一般の部

高校生以下の部

- ①返信などで利用しますので、氏名・住所は楷書でハッキリと記入してください。
- ②大会当日の参加の有無を必ず記入してください。
- ③入賞者については、応募票に記載の個人情報のうち、氏名、居住地の市町村名、学校名等を作品に掲載するほか、報道機関を含めた関係者へも提供する場合がありますので、了承の上応募ください。

住所		氏名	
〒	-	ふりがな	雅号
都 道 府 県		ふりがな	本名
TEL () ()			

三十日大会	参加・不参加
三十日交流会	参加・不参加
三十一日実作	参加・不参加

この応募票にご記入いただいた住所・氏名等のデータは大会関係事務以外には使用しません。
来年度開催の国民文化祭「連歌の祭典」の募集要項送付等の関連事務に使用することを希望されない方は○をしてください。

希望しない

○実作会場については、事前に主催者から連絡します。
交流会参加の方のみ会費 五千円(当日)

第26回 国民文化祭

連歌の祭典プレ大会

事前投句応募用紙

【応募句】

※いずれかのみでも可

応募部門

※該当に○印をつけてください

一般の部 ・ 高校生以下の部

発句 み教へを伝へむ不二の八重桜

忠夫 春季

脇句 東風かをりくる名にし負ふ寺

幸子 春季

第三

募集句 春季

発句 ときは今天が下しる五月哉

光秀 夏季

脇句 水上まさる庭の夏山

行祐 夏季

第三

募集句 夏季または雑（無季）

応募用紙はコピーでも可

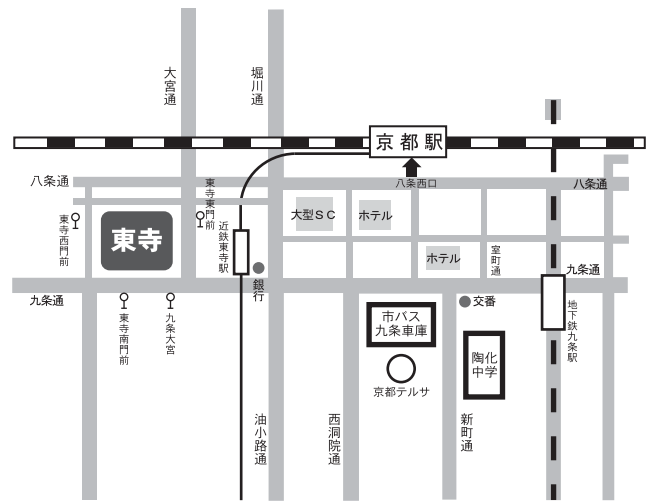
会場地図

〈北野天満宮〉



- JR「京都駅」より市バス50・101系統「北野天満宮前」下車
- JR・地下鉄「二条駅」より市バス55系統「北野天満宮前」下車
- JR「円町駅」より市バス203系統「北野天満宮前」下車
- 地下鉄「今出川駅」より市バス203系統「北野天満宮前」下車
- 京阪「出町柳駅」より市バス203系統・「三条駅」より市バス10系統「北野天満宮前」下車
- 阪急「四条大宮駅」より市バス55系統「北野天満宮前」下車
- 京福電車「白梅町駅」より徒歩約5分

〈東寺〉



- JR「京都駅」(八条口)下車 徒歩約15分
- 近鉄「東寺駅」下車 徒歩約10分
- 京阪「丹波橋駅」から近鉄「丹波橋駅」乗り換え「東寺駅」下車 徒歩約10分
- 阪急「大宮駅」から市バス18系統、71系統、207系統乗り換え「東寺東門前」下車 徒歩約1分

〈京都テルサ〉

京都府民交流プラザ

- JR 京都駅(八条口西口)より南へ 徒歩約15分
- 近鉄東寺駅より東へ徒歩約5分
- 地下鉄九条駅4番出口より西へ徒歩約5分
- 市バス九条車庫南すぐ
- 名神京都南インターより国道1号北行き市内方面へ 九条通を東へ、九条新町交差点を南へ

有料駐車場が地下に180台ございます
最初の1時間400円、その後30分ごとに200円加算

